

東員町総合計画と S D G s



第6次東員町総合計画

- ▶ 平成23年度～令和2年度 第5次総合計画
- ▶ 令和3年度～10年間 第6次総合計画
- ▶ **令和元年度および2年度 第6次総合計画策定**



今回の策定に向けての考え方

- ▶ 町民の手作業による計画策定
- ▶ 総花的ではなく、東員町民の暮らしに沿った計画
- ▶ **SDGs** の精神を計画に反映

SDGsとは？

2015年、国連本部で150を超える加盟国首脳参加のもと開催の「国連持続可能な開発サミット」において採択された人間、地球及び繁栄のための行動計画としてかかげた、**17の目標**と**169のターゲット**からなるものです。

2030年までにSDGs達成するため、今年1月「行動の10年」がスタートしました。

国連に加盟するすべての国は、全会一致で採択した、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くさなければなりません。

SDGsとは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



なぜSDGs？

■ このままでは地球が持続可能ではない

なぜ？

人類が急速に発展

どうすれば？

世界共通の目標が必要



SDGsで**変革**

- あらゆるレベルの人が行動を起こさなければとても達成できない
- 未来の姿の立場に立って今の世界を見る



SDGs 達成に向けた 東員町の取り組み

SDG s

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつく
ろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達
成しよう

東員町総合計画とSDG s

3 すべての人に
健康と福祉を



3. すべての人に健康と福祉を

▶ 健康づくり調査研究

- ◆ 健康寿命について、その要因分析、調査研究を行う。
- ◆ 三重大学に依頼（5年間）し、今年度が最終年度となる。

▶ AIを活用したフレイル検知実証実験事業（8月ごろから開始予定）

- ◆ AIを使ってフレイルを簡易判定する技術を確認するための実験。
- ◆ 電力のスマートメーターで人の日常の動きをデータ化し、活用する。
- ◆ 町内で一人住まい高齢者30名に協力をお願いする予定。
- ◆ 東京大学、中部電力などによる、世界初の実験に参加する。

▶ 地域支えあい活動・住民主体による介護予防を推進

- ◆ 町内各地に地域に広がるカフェ活動、日常生活の支援。
- ◆ いきいき百歳体操など介護予防の推進。



4. 質の高い教育をみんなに

▶ 16年一貫教育プラン（お母さんのお腹に宿ってから中学校卒業まで）

- ◆子どものそれぞれの発達段階に応じた教育の取り組み
- ◆確かな学力と豊かな人間性をもとに、社会に参画する力を育む
- ◆幼保小中の学校・園間の綿密な連携
- ◆地域に開かれた特色ある学校、園づくり

▶ 生涯学習、生涯スポーツの推進

すべての町民が、豊かな人生を送れるよう、生涯学習の機会・場を提供するとともに、体力、年齢に応じたスポーツ活動の環境を整備する。

▶ 多様な文化活動の支援

- ◆町民の自主的な文化活動の活性化を促進する。
- ◆三大文化事業の支援を通した、東員町からの発信を図る。

（こども歌舞伎、東員ミュージカル、東員日本の第九）

東員町総合計画とSDG s

8. 働きがいも経済成長も

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう



▶ 農福連携（シグマファームとういんの実践）

- ◆ 2015年4月、4名、1.2haの農地からスタートした就労支援A型事業所
- ◆ グローバルGAPを取得、毎年1人以上の障がい者が一般就労で卒業
- ◆ 現在、26名の障がい者が働いている

▶ 大豆を使った新しい農業、特産品の創造

- ◆ おからの出ない製法で作る、大豆まるごとの豆腐、豆乳、油揚げ
- ◆ 東員町産米粉、大豆粉を使用したお菓子の開発
- ◆ 「ななほまれ」など、付加価値の高い品種の開発
(中性脂肪を少なくするβ コングリシニンを豊富に含む)

▶ ぶどう、ブルーベリーなど、新しい特産品づくりにチャレンジ

- ◆ 東員町を発信できる新しいものづくり。
- ◆ 高齢者、女性、障がい者などの働く場を提供。



11. 住み続けられるまちづくりを

▶ 交通弱者のための、公共交通網の整備

オレンジバス、北勢線の維持に加え、高齢社会に合った新しい公共交通網の導入を検討します。

▶ 自治会を含めた、自立した地域づくりのための支援制度

これからの人々の暮らしは、地域環境を整えることが重要です。
いろいろな地域活動団体を支援していきます。

▶ 災害に耐えうる強靱なまちづくり

▶ 心豊かに暮らせる、文化のまち東員づくり

- ◆ こども歌舞伎、ミュージカル、日本の第九
- ◆ 東員町をホームタウンとしたヴィアティン三重（サッカー）
- ◆ グッドニュース新聞の全国展開（東員町からの発信）
- ◆ 町民の皆さんの積極的な文化活動への参加

東員町総合計画とSDG s

17. パートナーシップで目標を達成しよう

東員町地域づくり協議会

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



行政が必ずやらなければならないこと以外の事業を
決定する、東員町地域づくりの**最高意思決定機関**

(上記の図はイメージ図です)